

## 79 日目 : Mysterium 最下層へ

第 3 層で Axiomite どもを残したまま、別室で休憩した PT。  
日を改めて、いよいよ第 4 層へのアタックをかけんとする。  
天使の像をいじって蓋をあけると、普通に降りることができた。

降りた先は 60 フィート 1 辺ほどの小部屋、壁のかわりに天使の像がびっしりと立ち、2 色の仮面をつけて槍を携えている。中央には錆びた鉄の立方体が 4 本の手を模した台座に置かれている。これが例のパズルで、解き明かすことで最下層へ到達できるのだ。  
立方体のパズルの表面には 11 のシンボルが可動部となっており、動かすことができる。

「蛇」「不死鳥」「雷霆」「幼児」「建物を建てる職工」「戦争」「流れる大河」「吹き荒れる風」「燃える炎」「腐ったきのこ」「たわわに実った果実」

これらのシンボルを「創造」と「破壊」に分類して寄せる必要があるようだ。当然議論になるものの、とりあえず一回動かしてみようという流れに。

- ・ 創造：不死鳥 幼児 職工 大河 果実
- ・ 破壊：雷霆 戦争 風 炎 きのこ
- ・ 不明：蛇

蛇を破壊に据えて動かそうとすると、うまく動かすために Int チェックを要求されるが、Lyushin はうまくやってのける。どうやらパズルの正解に確たるものはなく、Int チェックの DC に絡んでいったようだ。

そしてパズルが起動すると、下へ続く穴が作られる。その先は別の次元に続いているようで先を見通せないが、なんかコゲくさい臭いがすることに気づく。すかさず全員 Resist Energy(Fire) をかけて一斉に突入。

最下層は非常に広い部屋で、4 隅で火鉢が熱気を放っている。本棚が無数にあり、いくつかは宙に釣られているものも。乾いた熱気のなかに古い本の匂いがする。

突入した PT の皆はヴィジョンを見る。ロールズが書見台に留められている禍々しい本を強奪し、スクロールを読むと何らかのポータルが開いて消え去った。The Keeper が怒り狂い、直後に部屋の中に緑の気体が満ちていく。ポータルの向こうには緑生い茂る庭園と Gnoll の姿。そして“Come. He may have the tome, but it is not too late. Come now!” といういつもの声。

ヴィジョンが消えると、目の前には Huge の怒り狂ったアルコンが。これが The Keeper だ。口がなにもかかわらず言葉が聞こえる「Intruder!!」

Lyushin の Knowledge。これは元は Exscinder Archon、検閲者。でも魂が捻じ曲げられてしまい狂っている。

1 分に 1 回 Gaze へのセーブに失敗すると Con/Cha/Str に 1d4 ドレイン、Std で付近の書物の文字を奪う能力、すさまじい苦痛を与え 1d6Dex ダメージ + 1d4Daze を追加する Torturing Touch などを持つ。

ほとんど打つ手がない Lyushin は Phantasmal Killer を撃ってみるが SR を抜けない。

敵は Quicken Fireball からの Torturing Touch を Cleave してくるが、前に出ていた Axe も Youl も耐える（ほんとは Cleave できなかったようだ）

Axe と Mklwh が Full Attack でクリティカルを出して 300 点近く削ったが、倒れそうになった途端に状況発動の Heal がかかって敵はモリッと回復する。Mee は Align Weapon(Evil) を Axe に唱え、Spellcraft を行えずに Evil 呪文を享受してしまう。結局普通に殴り勝つ。無力化にうま味が薄く、炎対策も万全で来られてしまってはこうもなろう……。それでも半数の面子に複数能力値へのドレインが残り、財布への打撃はそこそこ。

エルダー・シールに教わったとおりにセキュリティを復旧させようとする皆。Lyushin は「天使像の眼窩をえぐって直す」ことを思い出すけれど、この部屋に天使像はない。半数は最下層を搜索、半数はパズルの部屋に戻って天使像を探す。案の定、パズル部屋の天使像の中にあった。眼窩に指を突っ込むと音がして、場の雰囲気がか変わったように感じた。しかし 3 層まで戻ってもまだ上に戻る手段がない。が、しばらくすると上から蓋があき、エルダー・シールが「大丈夫ですか？」とやってくる。どうやら無事セキュリティが戻ったようである。

第 2 層の Mun のところに行く。

Axe は「事態は収拾した。だけど君の家すごいヤバかったよね？法の裁きを受けるべきだよ？受けなさい！」と宣告する。その Intimidate があまりにも高かったので、Mun はもはやこれまで！と服毒自殺を図ってしまった。主人を失ったホムンクルスは身ぐるみ剥がされたうえで Mysterium のガードに連れて行かれる。

エルダー・シールは「いま金欠のためお礼はできませんが、中で拾ったものは持って行ってください。Mysterium の恩人なので以後のご利用もご自由に」と。

裏手の壁の穴について言及すると「なんですかこれは？」とシールに問い詰められる。

Lyushin がごまかそうとするが Axe が真実を語り、Stone Shape で直せば許してくれそうな流れに。

## 80 日目 : Okeno へひとつ飛び

復活したリシーンが宿に現れ、謝罪と謝礼をしてくる。5000GP くれた。

さらに Teleport も用意してくれたので、Kasheer でできることも無さそうだしさっそく次の目的地 Okeno に向かう。次の手がかりは Gnoll の奴隷商人、Biting Lash である。

Biting Lash に会うべくまず Divination をすると、「気をつけて聞き込みせよ」「商売の基本はギブアンドテイク」「奴隷商のことは奴隷商に聞け」とのこと。

Okeno では Fleshfairs という奴隷市場が開かれる。人間が開く市場と Gnoll が開く市場がある。

Axe と Mklwh は、Slaver's Vault という銀行にいるアバダーのジャスティス・ハンバル神官を見定めに行く。ハンバルは非常に堅物で「Okeno でただひとり賄賂を受け取らない」と言われている。つまりハンバル以外は賄賂を日常的に授受しているというわけだ。

ほかは Seeming で Gnoll の姿をとり、Gnoll の奴隷市場へと向かう。そこらの Gnoll を捕まえて聞くと場所がわかり、実際に行って皆で Diplomacy すると、訝しがられながらも色々雰囲気がかかる。

- ・ Gnoll の奴隷商人は人間から蔑視される、ゆえにかなり周囲を疑ってかかっているらしい
- ・ Gnoll 奴隷商で一番成功しているのは Hyena Princess Njano。グレートなインテリジェンス

とカリスマを持っていて、おおっぴらに取引もする。

- ・ Biting Lash は偽名。かなりのパラノイドで非常に注意深く取引をし、Fleshfairs に出歩くことはない。姿が毎回変わってるらしい

その帰りぎわ、「Njano が fair に来てる」という噂が聞こえるので、雰囲気を見に行く。

まさに Princess といった感じの Gnoll と、護衛に人間ぽい女性、ローブの小柄な人型がいる。近づいていこうとすると護衛（キセツ）に止められる。

「Njano 様に取次お願いしたいのですが」「Quaveandra という奴隷商ともコネがありまして」と Mayu が嘆願するもすげなくあしらわれ、キセツによって Bull Rush で突き飛ばされそうになるが Mee の Medium 効果もあって耐える。すると Njano が興味を持ってくれたようで近づいてくる。「ここは初めて？」と聞かれて首肯すると「では楽しんでくださいね、匂いのしないノールたち」と返される。怪しまれてる？

Biting Lash について聞くと Njano もよく知らないようだが、夕食を誘われる。ローブの者(ハコー)から会合の場所を伝えられる。服装自由らしい.....Seeming なしで行くのがよさそうか。

夜、Princess の Estate に向かう。ハコーに案内されて中に入ると、Njano はバスルームから応対してくる。ミルク風呂に浸かり、8 人の奴隷を侍らせ、フルーツが供されてくる。スパイ映画よろしく、カーテン越しにて話に入る。

Youl 「Biting Lash というものを探しています」

Njano 「商売敵です少しは知っています。ですが商売はギブアンドテイク、情報を上げる代わりに面倒ごとの解決をお願いしたいのです。人助けみたいなことを...」

クスクスと強キャラみたいに笑う Njano。いや多分ほんとに強キャラなのだろうけど。

Njano 「恋人のひとり Dahab が数日前に消息を断ちました。そして今朝我家にこのようなものが届きました」

箱を差し出してくる。開けると中には人間の耳が！

Njano 「大変心痛です。どうかこの Dahab を助けてください。彼らは明後日の朝 Shipwreck に私一人で来いと行ってます。受けてくださるなら手がかりは渡します。できるだけ生かして連れて帰ってきてくださいね」

Mayu 「心当たりは？」 「ない、もしくはありすぎる」

引き受けることを申し出ると、脅迫状も渡してくれる。

脅迫状の中身は慇懃無礼な字面で皮肉めいて「身体のパーツを 1 つ 1 つ送るよ」と書いてある。Mee が Linguistics を通すと、皮肉の性質が Infernal 語ネイティブっぽいと感じた。Blood Biography すると、耳が偽物でないこと、「無理やり刃物で切られた」ことがわかる。

Lyushin が Scrying するが見えない、Private Sanctum の中なのかもしれない。

Njano 「Dahab は最近、Black Circus の Rhamir という動物使いやゴズレー神殿の建築家 Azeem に接触していた」

Commune で二分探索を避けつつ質問タイム。

- ・ Okeno にいる？ Y
- ・ 外次元界のクリーチャーがさらった？ Y
- ・ シップレックにいる？ N
- ・ 地下にいる？ N
- ・ 水上にいる？ N
- ・ シップヤードにいる？ N
- ・ 首謀者は奴隷商人？ N
- ・ 犯人を見た人はいる？ Y
- ・ 犯行現場は Dahab の家の近く？ Y
- ・ アウトサイダーは 5 人以下？ Y
- ・ 犯行の瞬間の目撃者はいる？ N
- ・ 誘拐の過程を見た者はいる？ N
- ・ 接触した 2 人は犯行に関係ある？ N

Black Circus はかなりやばい連中のような。Okeno で最高の娯楽となればそうもなろう。とりあえず夜のうちに Dahab の家に行ってみるが、めぼしい手がかりはなし。

## 81 日目：ぞうさんとあそぼう

次の日、まずは皆で Rhamir に会いに行く。

サーカスに向かい、彼の私室に通されようとするが、部屋の中からはけたたましい動物の音が聞こえてくる。ノックしても反応はない。

扉を開けると中では、でかい檻に Mastodon が飼われていて、太った男がそれを調教しようとしている。受け答えしようとしても相手は上の空で、話をするには檻に入るしかなさそう。Youl と Mee が入る。

Rhamir 「Dahab は 2,3 日前に会ったなあ！」

Rhamir 「Dahab はここ最近誰かに惚れてたようだなあ。金持ってるようだったなあ」

Rhamir 「Dahab が惚れてた彼から貰ってたものがその辺にあるよ」

……と、1 回受け答えするたびにマストドンに蹂躪されてすごいダメージを受け、Mee がかなり傷だらけに。Mee は一足先に離脱し、ごんぶとの Youl が話を続ける。

その後、Dahab のロッカーを見せてもらおうと、ビューティフルな革製の衣類、黄土色に染められたブーツが出てきた。特にブーツのほうは、なかなか見られない深い色合いの黄土色だ。

Youl はローカル知識で、このように染めるなめし革業者は 1 件しかないという噂を思い出す。

なお Dahab はバイセクシャルのようだ。「彼」って言ってたしね。

ブーツについてインタビューするべく、その唯一の革業者である Salir's Fine Leathers に向かう。でかい平屋の建物だ。受付に向かい、質問。

Youl 「この靴を購入した人について知りたいです」

賄賂を 100gp 相当わたすと、相手は高額な袖の下に有頂天になりつつも、なぜか記憶がないと言う。高級品を扱う店なこともあり、あらゆる取引に帳簿を付けてるにも関わらず、記録も記憶もないと言うのだ。クツッ怪しいのだが嘘をついている感じもない。

職人にも話を通すと、作った記憶は確かにあるが売った形跡がないという。誰に聞いてもそんな

感じ。誰かがチャームされて手放したのか、泥棒されたのか。警備も相当の人数（人間 12 + レパード複数）だが、さすがに魔術師の泥棒に対処できるわけではなさそうである。あきらめて外に出て、中に向けて Detect するが、Outsider めいた強い反応はない。

もうひとりの接触者である Azeem に会うべく、建築中のゴズレー神殿へ。Azeem はどうやら相当のワーカホリックのようで、ずっと屋根の上にいるようだ。飛べる Lyushin/Mklwh/Youl が向かう。

Azeem「Dahab には何日か前に会った、トラブルに巻き込まれた感じはなかったが、新しい恋人ができた話はしていた」

恋人について聞くと、ファザールというガチムチの男、革染め屋の御曹司らしい。どうやらやっぱりさっきの革屋が怪しかったのだ。

今日のうちに再び革屋を調べなければならない、と向かおうとした、まさにその時……！！  
(つづく)